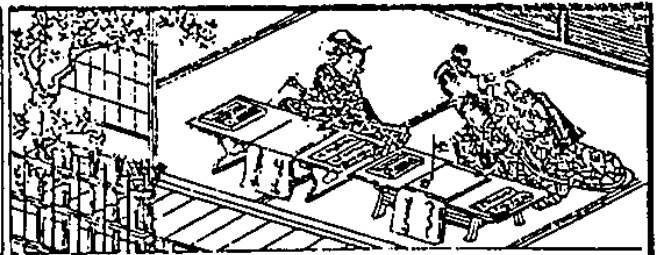


宿題 女今川 寺子屋の女子初等教育に最も使用された教科書の一部
添付の「解説の手引」を参考にしながら下段の本文を解説してください。



上は、唐の文字
 なく、能く倣ひて
 書を讀み、その法を
 見、文をせしむる
 文は、六書八体とて
 まけ、是れを、
 り、
 天竺の、
 四十七字とて、
 名を、
 大、
 所、
 所、
 へ、

今更なる
自らの
制国の
一帯は
女の

[illegible]

のろはるまじハ一箱
 波津みさうやみさ
 なるのりのまをさる
 べとさうやのたま
 一箱やまうさう入
 けり山の手のゆき
 人をむり入のふみ
 二かきふあふさ
 かみきでるハサ
 今ののろはせあら
 びさう
 びさう
 へそにひさうハ女
 みさ一のうさうれ

二大なる母なく
うらも人よをうら
父母の徳を思ふ
孝の足跡を
かきま

王のひまは
 ちやうど同じく早く
 成りぬ。一世間、奴六
 小唄琴三味線を
 多ひてゐる人といふ
 ろいねありと云へ家
 主人おかくけろひて
 物ぬひ女をおく身
 なうともおかへん
 やもめへーむつ
 文王と中聖人の度
 ふくろおろぬひは
 そろーのひゆ
 赤い刀久しき世を

一丈の海を我とて
 王道を歩むは
 乃ち道なりと云ふ
 ものなりと云ふ
 福なり

解説の手引

語句の読み方・意味

※—は変体假名

今川いまがわ

今川いまがわは今川帖の略。子どもの手習帳兼修身書。

今川いまがわ 今川いまがわ

なならへへ天てん

自みづからから

なならへへ天てん 自みづからから

制詞せいしの條々じょうじょう

制詞せいしの條々じょうじょう いましめの箇条。

常能じょうのう

常能じょうのう 常能じょうのう心ざし

心こころがねじねじれている。

女の道おんなのちみち

女の道おんなのちみち おんなのみち

明あきらかなかなららざるざる事こと

明あきらかなかなららざるざる事こと 明あきらかなかなららざるざる事こと

若わかき女おんな

若わかき女おんな わかきおんな

無益むやく乃なり

無益むやく乃なり 無益むやく乃なり

宮寺みやでらへ参まゐり

宮寺みやでらへ参まゐり 宮寺みやでらへ参まゐり

神社・寺院へ参詣すること。

改めあらため須す

改めあらため須す 改めあらため須す

敗連くわいれん尔至里にるしりて

敗連くわいれん尔至里にるしりて 事ことが成立りゅうじやうせずずに、失敗しがいに終はわる。

弁へんへへなく

弁へんへへなく わきまわきまえなく 承知しやうちすることなく。

うちとうちとけ

うちとうちとけ 無遠慮むえんりょに。

人ひとにに語ごるる事こと

人ひとにに語ごるる事こと ひとにかたること

深ふかき恩おん越え

深ふかき恩おん越え 深ふかき恩おんを

忘わすれ

忘わすれ 忘わすれ

陳ちん可か耳じ

陳ちん可か耳じ おろそかに 奈なるる事こと

夏なつは事ことの異い体たい字じ。

輕かろんんじる

輕かろんんじる 輕かろんんじる

恐連おそれん事こと

恐連おそれん事こと おそれざること

道みちにに反へんして。

道みちにに反へんして。 道みちにに反へんして。

栄えいゆる毛けの越こ

栄えいゆる毛けの越こ さかゆるものを

ううらら屋やみ

ううらら屋やみ 称しょう可かふ事こと ねがうこと

福ふくひひ事こと

福ふくひひ事こと ねがうこと